

「令和元年度 牛繁殖技術セミナー」を開催しました

8月9日（金）、帯広畜産大学教授 松井基純先生を講師にお招きし、受胎率向上等に資する繁殖技術として超音波画像診断装置（以下、エコー）の活用に関するセミナーを、（学）八紘学園北海道農業専門学校を会場に開催しました。北海道家畜人工授精師協会会員のNOSAI やJA 職員ならびに酪農家の計10名の参加がありました。

セミナーでは、エコーの原理や使用方法をはじめ、雌性生殖器の構造や乳用牛の繁殖生理等の基礎的な内容および生殖器の検査方法について講義が行われました。エコーの利用は経験が必要であるが、早期に正確な診断が可能となる等のメリットがあること、家畜人工授精師がエコーを用いる場合は、自身が行う人工授精や胚移植の可否の判断に利用すること、また得られた情報を獣医師と共有することで、速やかに適切な診断につながると期待されること等の説明がありました。

実技研修においては、と体生殖器および実習牛を用いて、各生殖器の位置関係やエコー画像の色調の違いを確認しながらプローブ操作技術の向上に励み、講師による実習牛の診断および解説と、各自の判断内容を照合し、改めて確認する等、限られた時間の中で技術の習得に努めていました。

本セミナーが、受講生の皆様の繁殖技術向上の一助となることを期待するとともに、お忙しい中、講師を快諾して下さった松井先生をはじめ、共同開催頂いた（学）八紘学園北海道農業専門学校の皆様、開催に際し多大なるご協力を頂いたホクヤク（株）の皆様に心より感謝申し上げます。

講義の様子



実習の様子

